

設問

[問い1] 質問

- 1) コミュニケーションにおいて大事と思われる会話がDX化によって遮断されそうだというのは?
- 2) 昔から物を作るのが好きで高専に入ると。当時物作りのどのようなところが好きでした?
- 3) 高専卒業後は(どうされたか)と聞いていたので(ようか)?
- 4) ロボット開発をやりたかったとの事で「が」、どうしてやりたかったのかで(ようか)。
- 5) 昔からFace to Faceのコミュニケーションを大事にされていたと。昔からというのは?
- 6) ロボコンでリーダーとして、技術担当で「はじめた」と思ったのは(どうしてで(ようか))?

[問い2]

事例IのCct11 (相応しい・相応しくない) 良かった点

理由: 面談の冒頭の来談目的からCLの言合へ傾聴を心がけることにより前半くらいまでは色々とお話を聞いていき信頼関係も構築できていると感じた点。

事例IIのCct11 (相応しい・相応しくない) 悪かった点

理由: 後半で高専卒業後について焦点を当てた問いかけが出来なかったこととCLの高専卒業後の思いについて話を伺えず、その分少し話の展開も遅いと感じた点。

[問い3] CLの主訴

CLは会社がDX化をおし進めようとしている事を知り今後働き方が変わりそうで不安を感じている。そこから話を伺っていくと、CLは仕事におけるコミュニケーションとして対面での会話が大事と考えている。一方、CLは会社でのDX化については一般論でしか捉えられていない。かかる状況下、DX化後はCLが求めるコミュニケーションが出来なくなると考えていて、どうしたら良いか相談したいというのが現状での主訴。

[問い4] 今後の展開

まずCLの考える一般論でのDX化について話を伺い、その上でCLの会社ではどのようなDX化が進められるかについても考えてもらう。会社でのDX化について理解を深めてもらう。そしてCLが大事と考える対面コミュニケーションやその他の仕事の仕方も価値観にふたつ同じ整理をしてもらう上でそれらがDX化後にどのような様に変わると考えるかについても考えてもらう。そしてそれらをふまえてDX化後は環境が変化する中でCLがどのように自分の求める働き方を実現できるかを一緒に考えそれに向けて支援したい。